

資料 3 .

令和 6 年度の重点実施項目

令和6年度の重点実施項目

目 次

1. 大和川流域における住民の防災意識調査を踏まえた取組の実施について
2. 令和6年度の重点実施項目について

1. 大和川流域における住民の防災意識調査を踏まえた 取組の実施について

大和川流域における住民の防災意識調査について

- 大和川流域では、“**減災協の取組で住民の防災意識はどう変わるか**”を把握するために、これまで**平成30年度・令和2年度**に氾濫域の住民を対象に**防災意識調査アンケート**（WEBアンケート）を実施してきている。
- 防災意識調査アンケートでは、右図のように**住民の防災意識レベル（フェーズ）**がどの段階に到達しているかを判定する**評価項目（質問）**を設定し、5つのフェーズ区分の概念を軸に評価して、地域住民の防災意識の現状と特性を把握している。
- 大和川流域の約7～8割の住民は、**Phase1～Phase3**の災害リスクの認知度の向上が必要な層であるが、一方で、**防災意識の高い約15%の率先避難者が存在**することがわかっている
- 令和2年度の調査**では、**市町のハザードマップ公表・周知等によりハザードマップの認知状況が高くなっており、Phase2（ハザードマップを確認している層）が減少傾向**となっていた。一方で、依然Phase1の割合が高い状況であった。

平成28年度：減災対策協議会設置…**取組方針**を作成

概ね5年間の取組目標

- （避難）急激な水位上昇及び広範囲の浸水に対して迅速、的確かつ**主体的な広域避難行動のための取組**み
- （防ぐ）一秒でも長い避難時間の確保のための水防活動実現への取組
- （回復）氾濫による社会経済被害の軽減、早期回復を可能とする水害に強い都市の再構築のための取組

減災協の取組で住民の
防災意識はどう変わるか

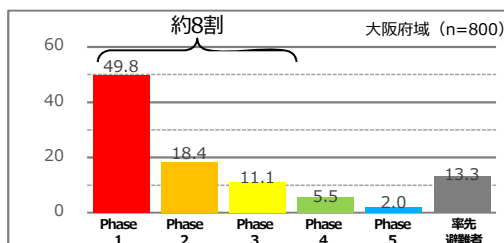
平成30年度：住民防災意識調査（定期的な調査）を実施

- 取組方針で記載したソフト対策の効果検証の**基礎資料とするために住民の防災意識調査**を実施
- 評価項目（質問）を設定し、防災意識レベル（フェーズ）がどの段階に到達しているかを定量的に評価**

概ね5年間の経過

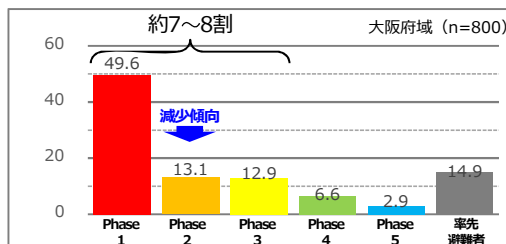
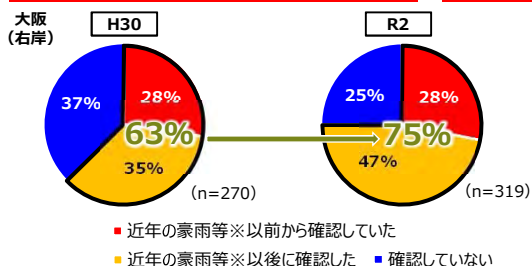


※1出典：住民の防災意識水準に応じた教育プログラム策定手法に関する研究

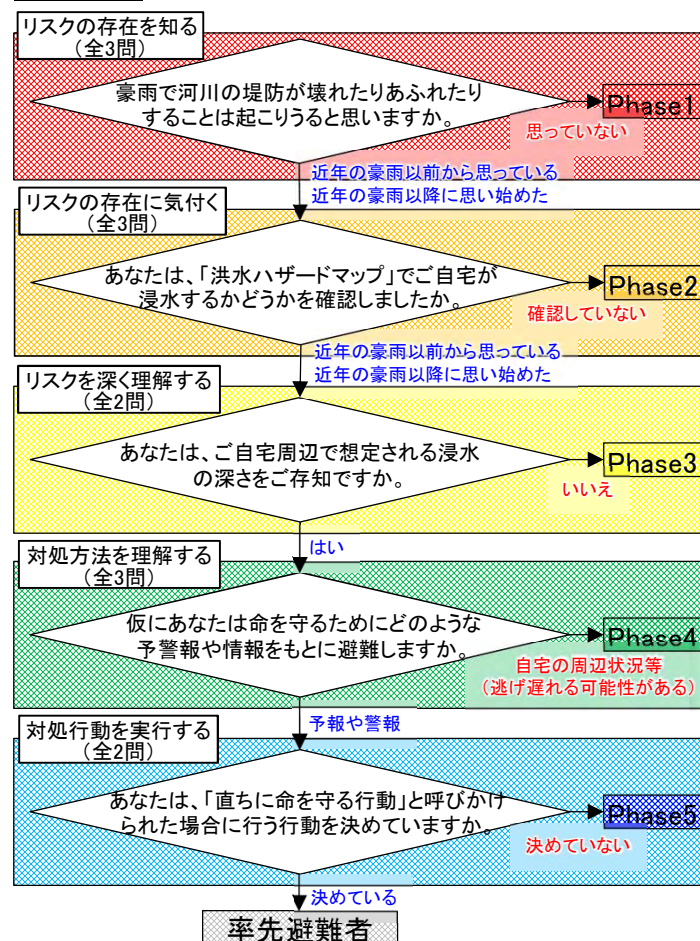


令和2年度：住民防災意識調査（定期的な調査）

- 取組方針で目標とした**概ね5年が経過したタイミングで住民の防災意識調査**を実施した。
- ハザードマップの認知状況が高くなり、Phase2が減少傾向**だが、依然Phase1が多い。



■ 質問例

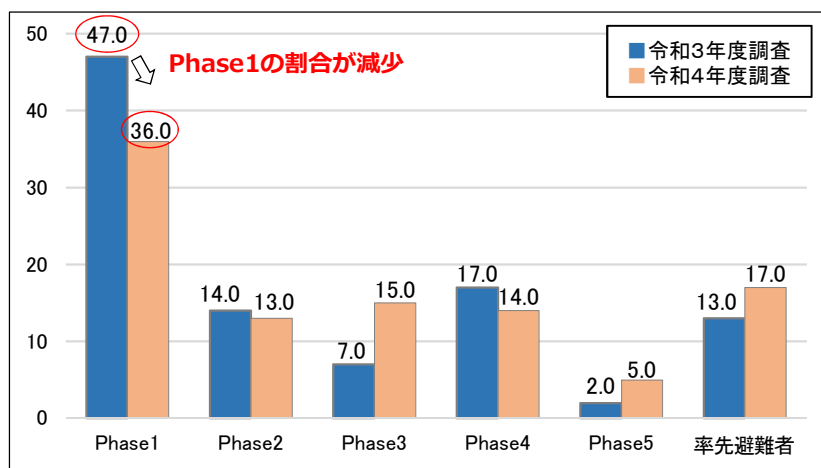


大和川流域における住民の防災意識調査結果例(藤井寺市の事例)

- まちなかに浸水深を表示する**まるごとまちごとハザードマップ**は、防災に関心のない方にも目にとまるため「**リスクを知る必要がある層 (Phase1)**」に**効果的な取組**であると考えられる。
- 藤井寺市では、令和3年度に市内の浸水想定区域内に広く標識を設置しており、標識設置直後 (R3) に実施した調査結果と一定期間経過後 (R4) に実施した調査結果を比較すると、**まるごとまちごとハザードマップを見たことがある人は、41%から53%に増加**しており、**浸水深を覚えている人の割合も増加**している。
- 防災意識構造においては、**Phase1の割合が減少**しており、**Phase1に向けたまるごとまちごとハザードマップの一定の効果が示唆**された。

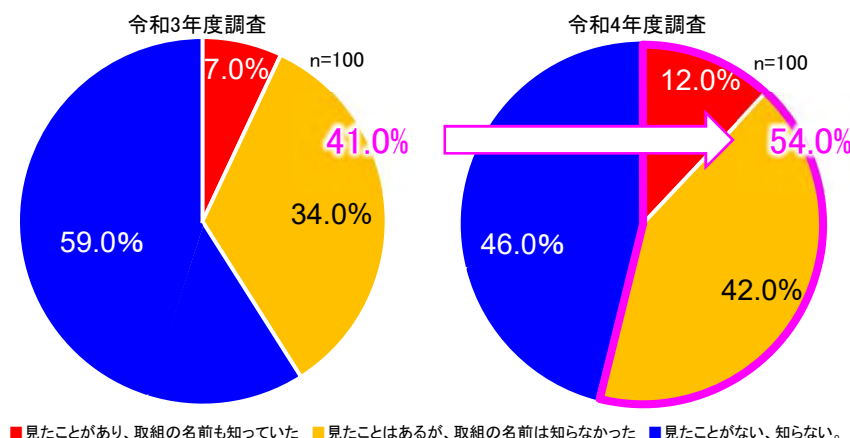
大和川の取組のPhase分類イメージ

Phase	取組項目例
1	まるごとまちごとハザードマップの整備・更新・周知
2	洪水ハザードマップへの作成・更新・周知 想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表
3	避難場所、避難経路の指定・更新・周知
4	避難行動の判断に必要な河川水位等に関する情報提供
5・ 率 先 避 難 者	マイ・タイムラインの作成支援 要配慮者利用施設の避難計画作成・避難訓練の支援 水災害意識啓発の広報 小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

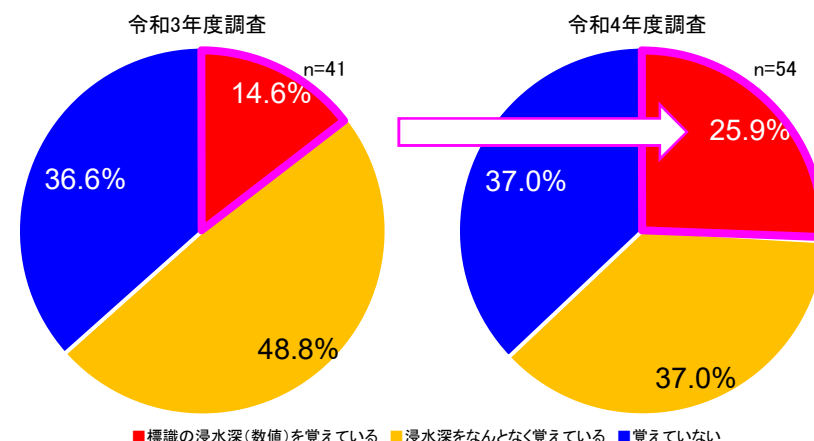


防災意識構造の分析結果 (藤井寺市)

Q「まるごとまちごとハザードマップ」という取り組みをご存知ですか (調査時には標識の画像も添付)。



Q「浸水する深さを覚えていますか。」



大和川流域における現状の防災意識を踏まえた重要な取組について

- 大和川流域では、「**率先避難者**」が約15%存在する一方で、「**Phase1**」が最も多い。
- 住民の防災意識の構造としては、**Phase1が減少し、「率先避難者」が増加していくことが望ましい**。
- 今後、取組方針を進捗するにあたっては、住民の防災意識の現状を踏まえて、「**Phase1」「率先避難者」に向けた取組や全体の底上げを図る取組等を実行することが有効**と考える。
- 具体的には、以下の3つのような方針が考えられる。

現時点のPhase分類をもとにした有効な取組(例)

①Phase1に向けて

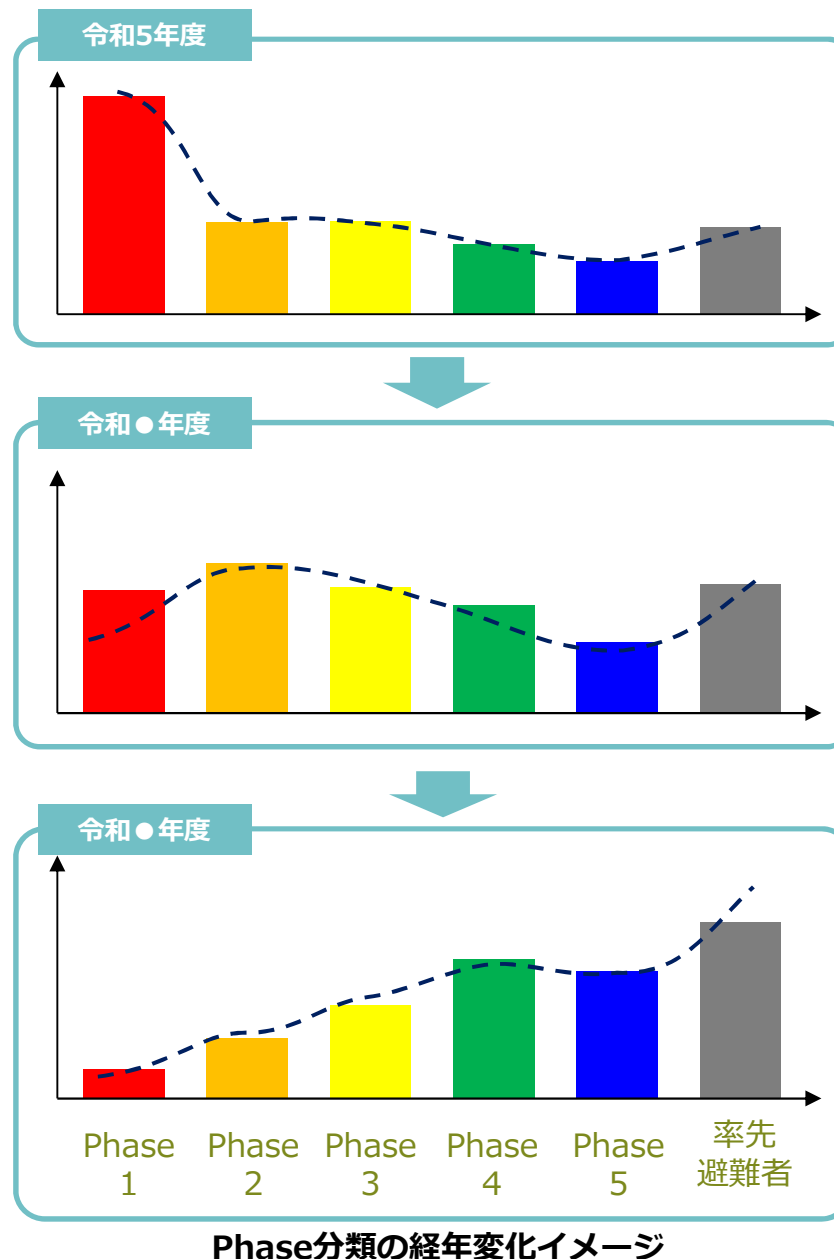
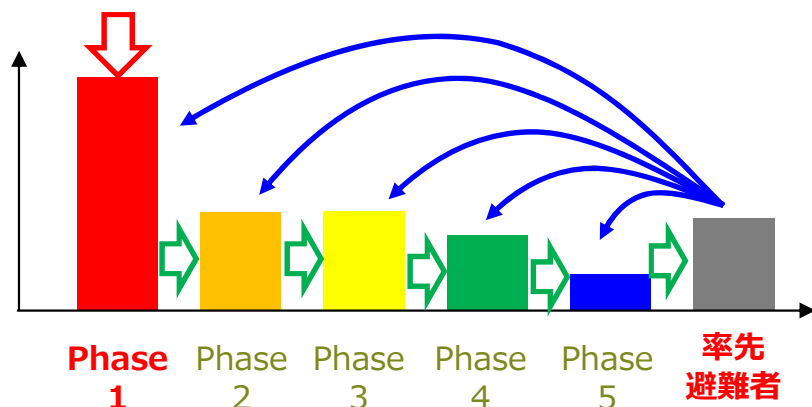
- リスクを認知できていない方に向けて自らのリスクを認知していただくような取組(まるごとまちごとハザードマップ等)

②各Phaseに向けて

- 各Phaseの人がワンランクアップを行えるような取組(防災教育や広報等)

③率先避難者に向けて

- 率先避難者が旗振り役となり、全体のPhaseを引き上げるような取組(マイ・タイムライン作成や避難確保計画の作成等)

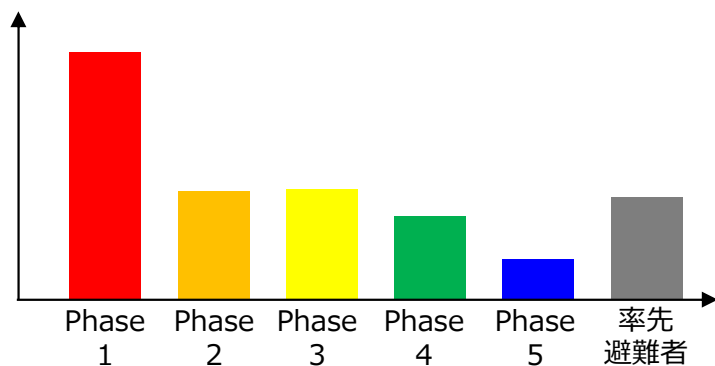


大和川流域における住民の防災意識調査を踏まえた取組の実施について

- 大和川流域の防災意識の現状も踏まえて、令和6年度の重点実施項目として、「**Phase1**」や「**率先避難者**」に向けた取組、**各Phase全体の底上げを図る**取組を実施・支援する。
- また、今年度は平成30年度・令和2年度に実施している氾濫域の住民を対象に防災意識調査アンケート（WEBアンケート）を実施する予定である。

リスクコミュニケーションプラットフォーム

- 住民一人ひとりの防災意識や考え方にはばらつきがある。**地域住民の興味・関心の度合いに合わせた防災・減災対策を提案するために、現在の住民の防災意識を評価（見える化）**。



令和6年度時点の大和川流域の
住民の防災意識を再確認

現時点のPhase分類をもとにした方針（例）

①Phase1に向けて

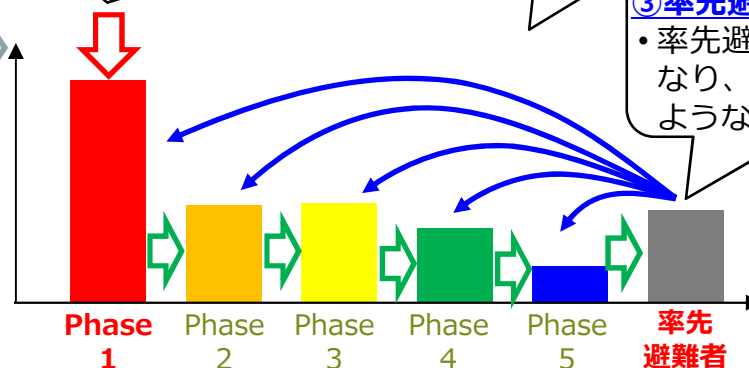
- リスクを認知していない方に向けて、水災害リスクの見える化等のリスクを認知するための取組

②各Phaseに向けて

- 各Phaseの人がワンランクアップするような全体に向けた広報のような取組

③率先避難者に向けて

- 率先避難者が旗振り役となり、全体を引き上げるような取組



令和6年度の重点実施項目

「Phase1」や「率先避難者」に向けた取組、各Phase全体の底上げを図る取組を実施

令和6年度の重点実施項目

- 大和川河川事務所では、過去の進捗状況や住民の防災意識調査結果を踏まえて、令和6年度は主に以下の取組を実施・支援する。



2. 令和6年度の重点実施項目

【Phase1に向けた取組】

- ①まるごとまちごとハザードマップの整備・更新・周知

【各Phaseに向けた取組】

- ②広報活動による防災意識向上

【率先避難者に向けた取組】

- ③マイ・タイムライン作成の促進支援
- ④要配慮者利用施設の避難訓練の促進支援

【その他】

- ⑤流域タイムラインに基づく訓練の実施
- ⑥流域タイムラインの更新

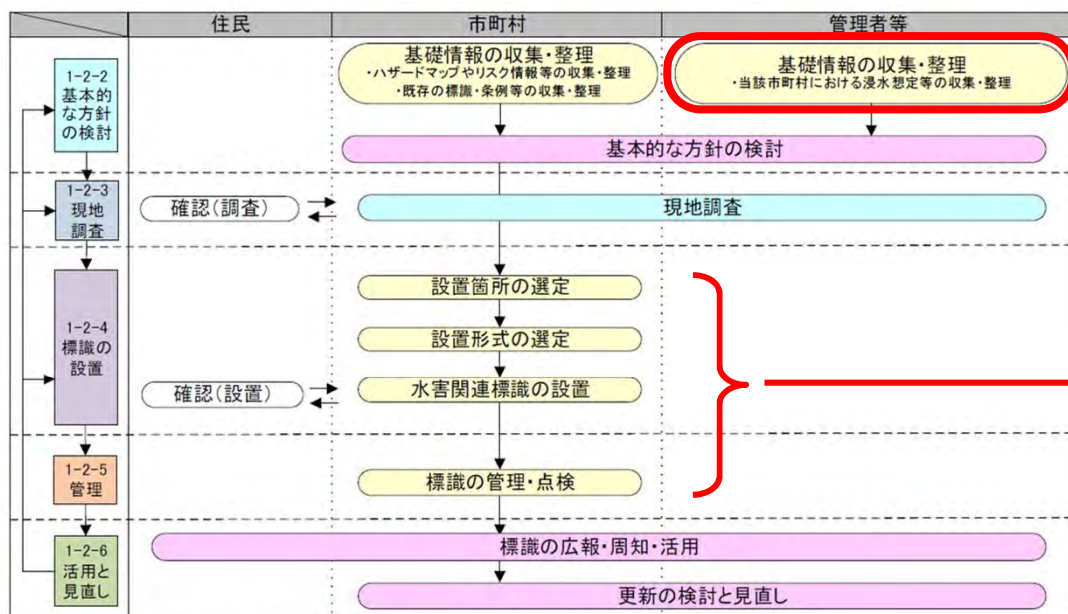
【 Phase1に向けた取組 】

①まるごとまちごとハザードマップの整備・更新・周知

①まるごとまちごとハザードマップの整備・更新・周知の支援

○水災害のリスクを認知していない方に向けて、まちなかでリスクの見える化を図る“まるごとまちごとハザードマップ”の取組は有効である。

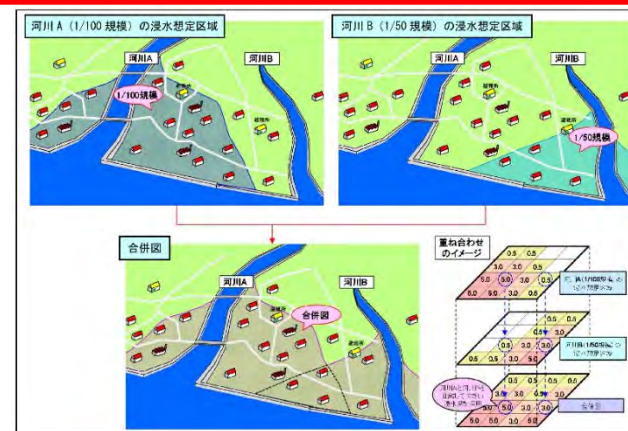
○まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き第2版では、河川管理者は「基礎情報の収集・整理」として、浸水想定区域図等のデータ提供や整理により支援することとなっており、大和川河川事務所では、今年度も引き続き情報提供等の支援を実施する。



- 単独実施** : 該当する関係機関がそれぞれ単独で実施する項目
- 分担実施** : 市町村が管理者等と連携しつつ実施する項目
- 共同実施** : 関係機関が共同で実施する項目

実施フロー詳細図（まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き第2版 P5）

浸水想定区域図等のデータ提供・整理



設置箇所や設置形式等の検討を支援



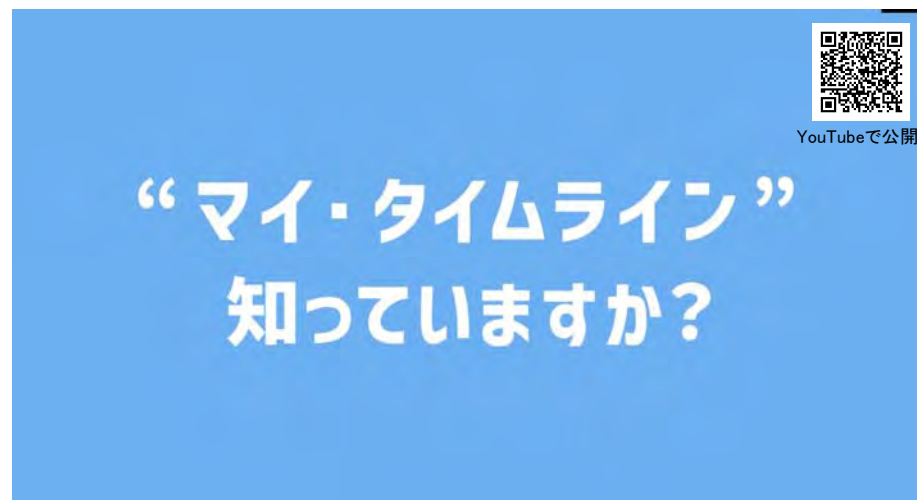
【各Phaseに向けた取組】

②広報活動による防災意識向上

②広報活動による防災意識向上(1.広報動画)

○大和川河川事務所では、マイ・タイムラインの周知を目的に、講習会の冒頭での活用やHP、デジタルサイネージでの利用を想定した約1分の紹介動画を作成している(大和川河川事務所YouTubeで公開(<https://youtu.be/jlfdPJucY50>))。

→多くの人々に防災・減災を日常で意識してもらい、防災意識向上につながるように、マイ・タイムラインの動画の要望を把握する(自治体デジタルサイネージや施設等での再生の要望があれば教えてください)。



マイ・タイムラインの紹介動画

②広報活動による防災意識向上(3.メディア意見交換会)

- 令和5年度に引き続き、メディア関係者の方に大和川について理解を深めていただくため、奈良県・大阪府内のメディア関係者と意見交換会・災害対策室の見学等を実施する。

■意見交換会の状況(事務所会議室・WEB会議併用)



■災害対策室の見学



令和5年度のメディア意見交換会の状況

【率先避難者に向けた取組】

- ③マイ・タイムライン作成の促進支援
- ④要配慮者利用施設の避難訓練の促進支援

③マイ・タイムライン作成の促進支援

○自治会長や地区住民を対象としたマイ・タイムライン作成支援や、気象キャスターによるマイタイムライン講習会の運営支援を行う。

■ マイ・タイムライン講習会の流れ



＜講習会の目的説明(国土交通省)＞



＜水害危険性の説明(国交省または気象キャスター)＞



気象キャスター



＜避難行動の検討＞



＜行動シールを活用した検討＞



＜参加者同士で行動の違いを共有＞

令和5年度のマイ・タイムライン講習会時の写真(王寺町・東住吉区)

④要配慮者利用施設の避難訓練の促進支援

- 水防法に基づき市町村地域防災計画に位置づけられている要配慮者利用施設の数、全国で122,314施設、そのうち、避難確保計画を作成済み施設は106,634施設ある（令和5年9月30日現在）。
- 大和川下流部の関係自治体における「要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施状況」は以下に示す通りで概ね100%の作成率となっている。一方で、避難確保計画の策定率は、上がってきているものの、訓練の実施率が低い状況（訓練実施状況の把握も必要）にある。

■ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施状況

	対象施設	計画作成		訓練実施	
			策定率		実施率
大阪市	5,474	5,474	100%		
堺市	394	323	82%	54	14%
八尾市	501	501	100%	86	17%
松原市	106	106	100%		
柏原市	79	79	100%		
羽曳野市	76	72	95%	12	16%
藤井寺市	52	52	100%		
東大阪市	1,137	1,085	95%	717	63%

<出典>

計画作成状況：国交省HP（市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設数及び計画作成状況（令和5年9月30日現在））

訓練実施状況：令和5年度末（令和6年1月）の減災対策協議会担当学会議の実施状況アンケートで、訓練の実施状況について回答のあったもののみ記載

④要配慮者利用施設の避難訓練の促進支援

- 大和川河川事務所では、情報収集や情報伝達、防災体制の確立、装備品等の準備、避難誘導の実施などの防災行動を時系列で整理することを容易とするため、『タイムラインシート』及び『行動シール』を作成中である。
- 今後、要配慮者利用施設への訓練実施PRに活用できるものとする予定。

タイムライン・行動シール（要配慮者利用施設版）														
◆役割分担														
統括指揮者				情報収集班				避難誘導班				装備品等準備班		
◆避難行動・支援行動														
避難訓練計画・手帳などを確認	職員への家族情報の伝達	職員体制の確認	台風連発や大雨の予報情報を確認	明日は念のため休業しよう。	明日の施設は休業します。	避難先及び避難ルートの確認	避難誘導員の確認	避難先への特定品等を点検し準備	装備品や備品等を点検し準備	避難先への特定品等を点検し準備	備品等の移動	移動用車両の手配	避難開始	
職員の手帳を確認	災害対策本部の状況整備	災害対策本部の設置	役割分担の確認	説明・報告	大雨や川の水位の最新情報を確認	避難先の受入状況の確認	利用者の避難を手伝ってほしい	電話連絡	協力要請	避難先への特定品等を点検し準備	備品等の移動	移動用車両の手配	避難開始	
避難訓練体制の確認	会議室・倉庫等の準備など	施設上層階のスペース確保	避難開始の判断	行動確認	互急！集合して待て！	避難準備中！行ってください！	大雨や川の水位の最新情報を確認	避難先への特定品等を点検し準備	備品等の移動	移動用車両の手配	避難開始			
利用者への説明	食事介助	排泄介助	与薬	入浴介助・清拭	着替え	防災メール受信	防災メール受信	大雨や川の水位の最新情報を確認	避難開始					
避難を開始して待て！	これから避難先へ避難します。	これから避難先へ避難します。	避難先への特定品等を点検し準備	避難誘導	施設内移動	エレベーターにて移動	階段による移動	車両による移動	利用者の確認					
徒歩による移動	利用者の体調管理	避難完了の報告	避難先への特定品等を点検し準備	避難先へ避難したので報告します。	食事介助	排泄介助	与薬	清拭	個別ケア					
医療的ケア	リハビリ	避難先での応対（排泄物等）	備品・備品の管理											

タイムライン・シート（要配慮者利用施設版）					
発生までの時間 1〜3日前 警戒レベル1 ■早期注意情報 ■警戒レベル1の可能性	統括指揮者 避難訓練計画・手帳などを確認 職員への家族情報の伝達 職員体制の確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	情報収集班 台風連発や大雨の予報情報を確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	避難誘導班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	装備品等準備班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	
	警戒レベル2 ■大雨注意情報 ■洪水注意情報 ■高潮注意情報	統括指揮者 避難訓練計画・手帳などを確認 職員への家族情報の伝達 職員体制の確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	情報収集班 台風連発や大雨の予報情報を確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	避難誘導班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	装備品等準備班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備
	警戒レベル3 ■高齢者等避難 ■洪水警戒情報 ■洪水警戒情報 ■大雨警戒情報（土砂災害） ■高潮警戒情報	統括指揮者 避難訓練計画・手帳などを確認 職員への家族情報の伝達 職員体制の確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	情報収集班 台風連発や大雨の予報情報を確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	避難誘導班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	装備品等準備班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備
	警戒レベル4 ■避難指示 ■洪水危険情報 ■洪水危険情報 ■土砂災害警戒情報 ■高潮警戒情報	統括指揮者 避難訓練計画・手帳などを確認 職員への家族情報の伝達 職員体制の確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	情報収集班 台風連発や大雨の予報情報を確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	避難誘導班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	装備品等準備班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備
	警戒レベル5 ■緊急安全確保 ■大規模警戒 ■大規模警戒	統括指揮者 避難訓練計画・手帳などを確認 職員への家族情報の伝達 職員体制の確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	情報収集班 台風連発や大雨の予報情報を確認 明日は念のため休業しよう。 明日の施設は休業します。 避難先及び避難ルートの確認 避難誘導員の確認 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	避難誘導班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備	装備品等準備班 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備 避難先への特定品等を点検し準備 装備品や備品等を点検し準備

行動シールの記入例

④要配慮者利用施設の避難訓練の促進支援

- ・ 水害時における避難訓練は、【STEPⅠ】職員だけで実施できる①情報収集・情報伝達訓練、②避難経路等の確認訓練、③設備や装備品、備蓄品、持ち出し品等の確認訓練を実施
- ・ 次に、【STEPⅡ】職員と施設利用者等による移動を伴う訓練である④立退き避難訓練、⑤屋内安全確保訓練について、施設状況に合わせて実施（職員が利用者の代役となる工夫も有効）
- ・ 最後に、【STEPⅢ】職員だけで議論する⑥図上訓練による振り返りを実施
- ・ 今年度は、モデルとなる要配慮者利用施設の避難訓練の支援を実施する予定である。

STEPⅠ：職員だけで実施できる訓練

①情報収集・情報伝達訓練

■避難のタイミングの確認

- (1) 防災気象情報の入手
※市町ホームページの確認
※防災メールの登録
- (2) 管理者等への報告
- (3) 関係者との情報共有 など



<施設管理者への情報伝達>

②避難経路等の確認訓練

- (1) 避難先や避難経路の安全性確認
- (2) 移動時間の確認



<避難経路の確認>

③設備や装備品、備蓄品、持ち出し品等の確認訓練

- 装備品、備蓄品等の確認
- ①避難に必要なエレベーターや階段、スロープ、階段昇降機の点検やストレッチャーや担架等の確認
 - ②食糧等の備蓄品、持ち出し品の数量等を確認



<持ち出し品の確認>



STEPⅡ：職員と施設利用者等による移動を伴う訓練

④立退き避難訓練

または

⑤屋内安全確保訓練

- (1) 避難先候補の選定、調整
- (2) 移動経路・移動手段の決定
- (3) 避難開始の館内放送
- (4) 利用者の状況確認、保護者等への連絡
- (5) 施設内の移動、車両等への乗り込み
- (6) 避難先への移動（移動時の支援）
- (7) 避難先における利用者の支援 など



<避難車両への利用者の誘導>



<保護者への連絡>

<施設の上層階への移動>

松原市での実施例

STEPⅢ：職員だけで議論する訓練

⑥図上訓練（振り返り）

- (1) イメージ訓練
夜間等における利用者の安全を確保するために必要な行動を整理
- (2) タイムラインの作成
イメージ訓練の結果を時系列の行動計画として整理



<図上訓練イメージ>

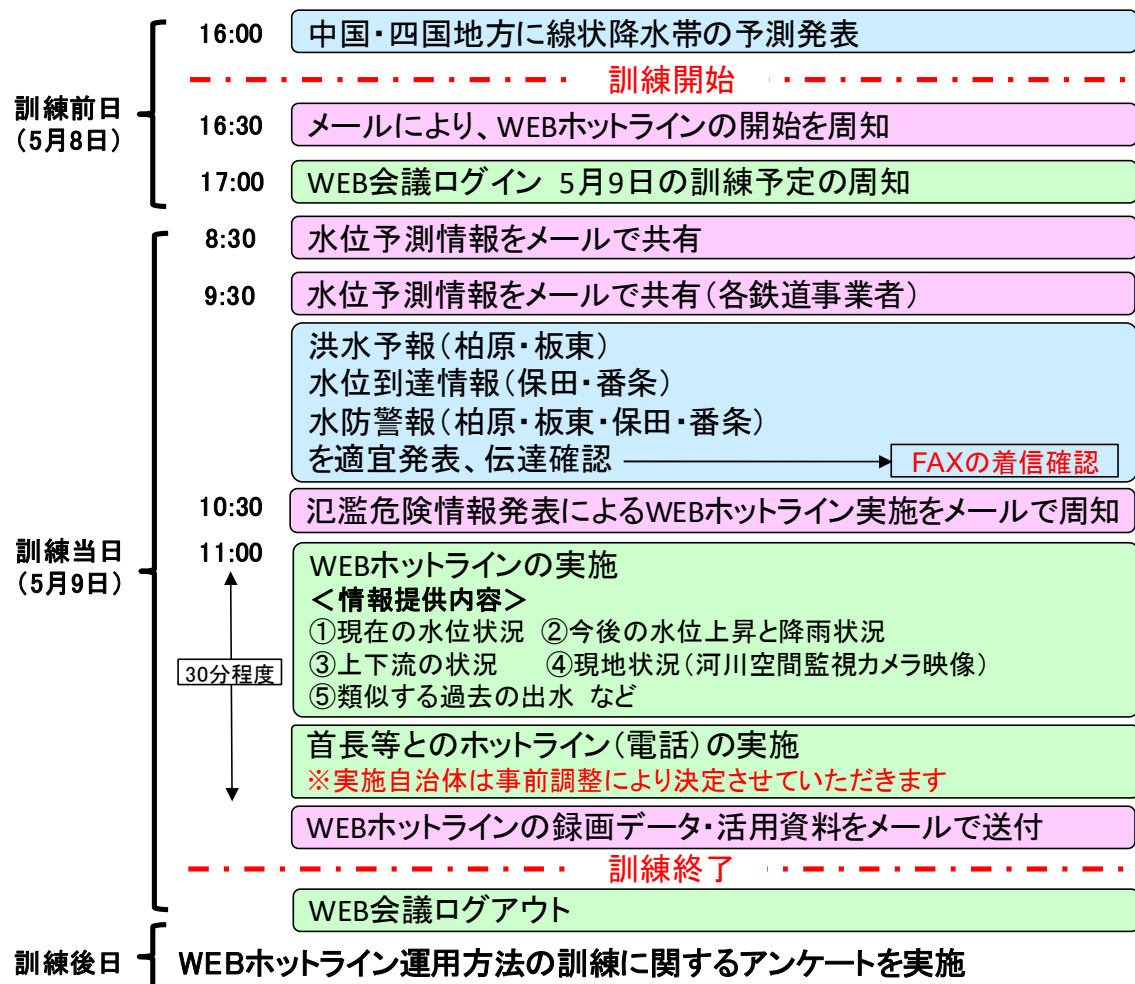
【行政機関の防災体制整備】

- ⑤流域タイムラインに基づく訓練
- ⑥流域タイムラインの更新

⑤流域タイムラインに基づく訓練(令和6年5月8日・9日実施済み)

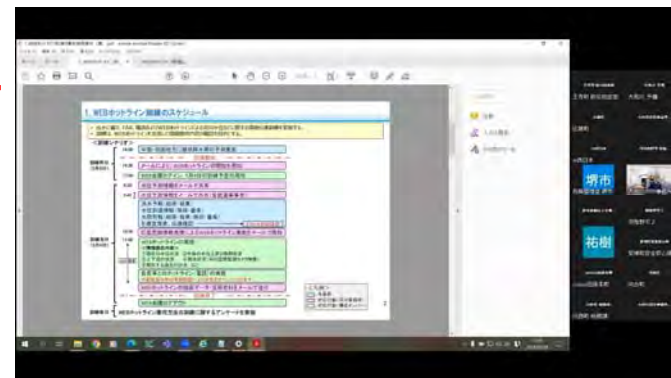
- 出水に備え、FAX、電話およびWEBホットラインによる河川水位などに関する情報伝達訓練を実施する。
 - 訓練は、WEBホットラインを活用した情報提供内容の確認を目的とする。
- 令和6年5月8日・9日に実施済み

＜訓練シナリオ＞



＜凡例＞ □: 与条件 □: 対応行動(河川事務所) □: 対応行動(構成メンバー)

■訓練の風景



＜WEB会議接続開始時_5月8日＞



＜氾濫危険情報発表時のWEBホットライン(5月9日)＞
(大和川河川事務所災害対策室)

⑥流域タイムラインの更新

- 流域タイムラインについて、流域タイムラインに基づく訓練や出水時を通して、確認された課題や改善点に対し、見直しを行う。

